

第 3 次朝霞市男女平等推進行動計画(素案)に対する
市民意見交換会

結果報告書

令和7年(2025年)10月

1 実施概要

(1)実施の目的

第3次朝霞市男女平等推進行動計画(素案)についての周知や市民の声を聞く機会とするため開催した。

(2)開催日時、会場

【開催日時】

第1回 令和7年10月12日(日)午前10時～正午

第2回 令和7年10月15日(水)午後5時～午後8時

【開催場所】

第1回 中央公民館・コミュニティセンター 展示ギャラリー

第2回 産業文化センター ギャラリー

(3)参加者

参加市民 計 28人

第1回 24人

第2回 4人


(4)実施方法

オープンハウス形式

【募集チラシ】

【会場の様子(中央公民館・コミュニティセンター)】

第3次朝霞市男女平等推進行動計画(素案)への
**みなさまの
御意見を募集します**



● **市民意見交換会**
(オープンハウス形式)

第1回 令和7年10月12日(日)
午前10時から正午まで
中央公民館・コミュニティセンター
展示ギャラリー

第2回 令和7年10月15日(水)
午後5時から午後8時まで
産業文化センター ギャラリー

☐ 第1回と第2回の内容は同じです
☐ どなたでも御参加いただけます
☐ 参加費は無料です
☐ 事前申込は不要です
☐ 開催時間内の出入りは自由です

● **市民コメント**

＜意見募集期間＞
令和7年10月21日(火) から
令和7年11月19日(水) まで【必着】

＜意見提出方法＞
住所・氏名(法人の場合は所在地、名称、
代表者名)・意見・理由を記入し、郵送・
FAX・メールまたは女性センター(下記住所)
へ直接持参してください

☐ 様式は自由です
☐ 匿名及び電話での受付はできません
☐ メールの場合、
件名に「第3次朝霞市男女平等推進行動
計画(素案)に対する意見」とし、添付ファイ
ルは使用せず、メール本文に記載してく
ださい

● **資料閲覧場所**
女性センター(市役所西側準会議室に一時移転)、
人権啓発課、市政情報コーナー、
各公民館(中央公民館を除く)、
図書館(本館・北郷蔵分館)、
内閣木交市、各出張所、
市ホームページ

● **オープンハウス形式とは**
展示パネルを見ていただき、職員が
皆さまに説明のうえ、質問にお答え
する説明会形式です。

市は意見交換会の
詳しい案内はこちら

市はコメントの
詳しい案内はこちら



朝霞市女性センター
(それいゆがらぎ)

〒351-8501 朝霞市本町1-1-1
(※10月21日から印刷用住所変更届出済) 朝霞市
TEL 048-463-2697
FAX 048-463-0524
E-mail soreiyu@city.asaka.lg.jp

2 アンケート結果

【第1回 令和7年10月12日】

【集計】第3次朝霞市男女平等推進行動計画の策定に向けた市民意見交換会 アンケート(10月12日)							
来場者カウント							
		女性	男性	計			
	～20歳	9	8	17			
	21～30歳			0			
	31～40歳			0			
	41～50歳			0			
	51～60歳	2	1	3			
	61歳～	1	3	4			
	計	12	12	24			
問1	あなたの性別・年代を教えてください。※回答は任意です。						
性別	1.女性	2.男性	3.選択しない	無回答	計		
	8	10		2	20		
年代	1.20代以下	2.30代	3.40代				
	15						
	4.50代	5.60代	6.70代以上	無回答	計		
	3			2	20		
問2	本意見交換会をどうやって知りましたか。該当する番号に○をつけてください(複数可)。						
	1.広報あさか	4					
	2.市ホームページ	2					
	3.チラシ						
	4.知人からの紹介	8					
	5.その他	8	(現地での声掛け、たまたま公民館に来て知った)				
	計	22					
問3	本日の意見交換会について、該当する番号にそれぞれひとつ○をつけてください。						
	項目	よい	どちらかといえばよい	どちらでもない	どちらかといえばよくない	よくない	無回答
	展示パネルの分かりやすさ	9	10	1			
	職員の説明や質疑応答	15	5				
	オープンハウス形式での実施	14	5	1			
	全体の満足度	13	5	1			1

問4	御意見・御感想を御記入ください。
----	------------------

※原文のまま掲載しています。

・朝霞市で男女平等への取り組みがこんなに活発に行われていることをはじめて知りました。第3次に向けて、男女平等のイメージは、女性の社会での活躍が基本だと思っていたけれど、DV防止や、ジェンダー平等に対しても、施策が考えられていて、内閣のトップが女性に変わるかもしれない今、新たに考えるべきことだと思いました。

・ジェンダーについての認知が低かったり、まだ女性の立場が弱いことから、朝霞の取り組みはいいと思った。しかし今までの状況だけでは目標達成しているものが1つということもあり、まだまだ目標まで遠いと思ったが、地域の人や小・中学校にこのことを伝えていると聞き、どんどん男女平等の目標はかなうと思った。

・性別の違いにより、社会の中での差別がうまれることや、暴力が発生したりと、女性の立場が弱いと感じた。今、学校でも男女差別の改善を伝える授業があったり、日本では今でも昔ながらの習慣があることによる差別があることを伝えられたりする。私はもっとたくさん伝え広めていくこと、差別の改善をもっとしていくことが大切だと思いました。朝霞市のそういった活動を知れて、とてもうれしくなり、安心した。

・DVに困っている人が意外にもいて驚いた。男女平等になっていると思っていたけど、アンケートによってそうではないと分かった。女性の社会進出に関しても問題になっているし、そこに関しても注目して政治をするべきだと思った。ボランティア活動も積極的にしたい。

・たくさんのことを知れて良かった。困っている人を救いたいと思った。男女平等の世界を目指したいです。

・朝霞市民の経済についての関心が低いと分かった。また、地方のさまざまな問題についてふれることができ、公共の勉強にもなった。

・朝霞市にこういう条例・政策があることを知らなかったのでこの場で知れて良かった。こういう機会をもっと参加していきたいと思った。特に2つのことが気になった。1つめは小・中学生の性と生殖に関する健康と権利の認知度が低すぎることだ。もう1つは、地域活動に参加したことがある人が少ないこと。小・中学生のときは時間があるので、夏休みや冬休みのときに学校単位で参加すれば理解が深まると思った。最後に私は「男らしく」「女らしく」という考え方はあったほうがいい。それは人間の自然体だからだ。男が「スカート」をはいていたら変人だと思われる。「男らしく」「女らしく」という生き方をしないことにメリットはない。

・今回のパネル展示を通して、エンパワーメントやSOGIEなど、新たな知識・知見を得られたとともに、市内の性や経済活動に関するグラフ、表、その他さまざまな資料を読み取ることで、市内の平等についての問題に関することについて理解することができた。今回のパネル展示は、グラフ、表を用いて分かりやすく説明されており、議題についての理解をより深めることができた。市内のDV状況にについて、こんなにもDV等よくないことが行われていることについて驚いた。

・SOGIEという言葉を知れてよかった。第2次の目標が1項目しか達成していないことを知り、完全なる男女平等が達成するにはとても時間がかかると思った。

・女性がDVの相談ができなかった人が多く感じた。身近でも、不審者が出ていたり、怖く感じる。学校で公民を学んでいて、知っている言葉が多く、興味深かった。女性も男性も、安全に生活できる社会になってほしいので、この機会に朝霞市の取り組みについて知れてよかった。

・昔からあり男女の問題は、今もずっと男女の平等問題は続いているとわかりました。今、政治でワークライフバランスという言葉が話題となっていたが、あまり理解できていなかったのが理解できてよかったです。こういう取り組みでより男女が平等で住みやすい社会につながればいいと思います。

・とてもおもしろかったです。DVについて知れました。

・DVされている人の数が意外に多くて心配になった。

・どなられたことはあるけど、なぐられてる人が多いことが驚いた。

・DVされた人の数が多くてびっくりした。

・多様な生き方ができるように様々な策が施されていることが分かった。男女平等や差別をなくすために、少しの行動が大切だと感じたので、行動していきたい。

【第2回 令和7年10月15日】

【集計】第3次朝霞市男女平等推進行動計画の策定に向けた市民意見交換会					(10月15日)		
来場者カウント							
		女性	男性	計			
	～20歳			0			
	21～30歳			0			
	31～40歳	1		1			
	41～50歳			0			
	51～60歳	1		1			
	61歳～		2	2			
	計	2	2	4	※アンケート回答者なし		